|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 題材名 | 時間 | めあて | 学習内容 | 評価の観点 | 主な材料 | 備考 |
| **感じたままに花**  **表現（２）　絵** | **４～６８･９　ページ** | **感じたことを大切にして、花をかくことをたのしむ。** | ○見たり想像したりした花を自分のすきな色の絵の具をたっぷり使ってかき、気に入った形や色の組み合わせ、情景などを見つけながら表す。 | **関：**花の形や色を自分なりにとらえ、絵に表すことをたのしむ。  **発：**画面の組み立て方や配色をかきながら考えたり、試みたりする。  **創：**描画材料の扱い方を工夫し、その効果を確かめながらかく。  **鑑：**友達の作品を見て、そのよさや美しさ、おもしろさを感じ取る。  **［共］**　身近な花を自分の感覚で見たり、感じたりすることを通して、形や色、奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。 | **教師：**画用紙、色画用紙、絵の具、コンテ定着液  **児童：**水彩用具一式、クレヨン、パス、コンテ |  |
| **わたしのお気に入りの場所** | **４～６時間**  **１０．１１**  **ページ** | **身近な気に入った場所を見つけて、**  **表し方をくふうしてかく。** | ○表したいことがよりはっきりと表現できるように、構図や描画材料、形や色の表し方などを自分らしく工夫してかく。 | **関：**自分が感じたことを大切にしながら、お気入りの場所をかくたのしさを味わう。  **発：**目に見えるものだけでなく、体全体で感じたことからイメージを広げて、形や色でどう表すか考える。  **創：**感じたことや表したいことをもとに描画材料を選んで、自分なりの表し方で工夫してかく。  **鑑：**友達の作品から感じるよさやおもしろさなどを味わい、思ったことを言葉などで伝える。  **［共］**　自分のお気に入りの身近な場所を見つけ、その場所の形や色などの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。 | **教師：**画用紙（色画用紙）  **児童：**水彩用具一式、クレヨン、パス、コンテ、カラーペンなど |  |
| 題材名 | 時間 | めあて | 学習内容 | 評価の観点 | 主な材料 | 備考 |
| **切ったねん土の切り口から**  **表現（２）　立** | **２**  **時間　12・13ページ** | **ねん土のかたまりや板を切り取り、その形を生かして立体をつくる。** | ○粘土を塊からテグスなどで切り分けたり、板状のものから切り針で切り起こしたりして、変化に富んだ断面の形状や自由に形成できる特性などを味わいながら、構成したり、分断したりなどを試しながら、立体に表す。 | **関：**粘土を切ることをたのしみ、そこから生まれた形を生かして表現する。  **発：**粘土を切り起こしたり、切り取って組み合わせたりしながら、自分が表現したいことを構想する。  **創：**切り方や組み合わせ方を工夫し、効果的に表す。  **鑑：**自分や友達の表し方に関心をもって、互いに認め合う。  **［共］**　粘土の可塑性を生かす活動を通して、形や動き、奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の表したい立体のイメージをもつ。 | **教師：**粘土（一人1.5～2㎏）、切り針、テグス、粘土板、粘土べら  **児童：**タオル |  |
| **強くてやさしい組み木パズル**  **表現（２）　　工** | **６～８時間　14・15ページ** | **木材を組み立てて、「組み木パズル」をつくる。** | ○「かきつぎ（切りこみを入れて組む）」や「だぼ（丸棒を使って固定する）」を使って板材を中心に立体的な表現をする。 | **関：**板材を組んで立体に表現することに関心をもつ。  **発：**切った板や木材を組み合わせ、美しさなどを考えながら自分らしい発想をもつ。  **創：**丈夫な組み立て方や木のよさを表す方法など、工夫して立体をつくる。  **鑑：**自分や友達の作品のよさや工夫に気づき、認め合う。  **［共］**　切った板や木材を組み立てる活動を通して、形や色のよさ、立体的な迫力や動きのおもしろさなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分のつくりたいもののイメージをもつ。 | **教師：**電動糸のこぎり、替刃、工作用紙、チョーク、やすり、紙やすり  ※修理用：木工用接着剤、間伐材テープ、波くぎ  ※「だぼ」用：ハンドドリル、だぼ  ※着彩が必要な場合：ポアステイン（アクリル系は厚さが変わるので注意）  **児童：**はさみ |  |
| 題材名 | 時間 | めあて | 学習内容 | 評価の観点 | 主な材料 | 備考 |
| **動き出すストーリー**  **表現（２）　工** | **６～８時間　16・17ページ** | **かんたんなしくみを使って、動くおもちゃをつくる。** | ○いろいろな動く仕組みのおもしろさを感じ取り、動き方からイメージを広げてつくりたいものを発想してつくる。 | **関：**動く仕組みをもとに、つくりたいものを探したり、工夫したりしてつくる。  **発：**動く様子からイメージを広げ、つくりたいものを思いついたり、つくり方を考えたりする。  **創：**つくりたいものの動きに合った材料を選んだり、部品を固定する方法を工夫したりする。  **鑑：**互いの作品を見合い、動きのおもしろさや工夫のよさに気づき、共感する。  **［共］**　動くしくみの、その動きなどの特徴をとらえて、動きを生かすおもちゃの形や色を思いつき、自分のつくりたいもののイメージをもつ。 | **教師：**造形紙、色画用紙、はと目パンチ、はと目、割りピン、和紙、ストロー、竹ひご、輪ゴム、たこ糸  **児童：**はさみ、接着剤、定規、セロハンテープ |  |
| **墨のうた** | **２～４時間　20･21ページ** | **墨や筆、和紙の特ちょうを知って、**  **かくことをたのしむ。** | ○筆や刷毛、身のまわりの材料を筆代わりにするなどしていろいろな試みに加え、墨の濃淡、色合い、香り、にじみ、かすれ、たれ、はねなど、かかれたもののよさや美しさ、快さなどを感じ取って表す。 | **関：**墨を使ってのいろいろな表し方に関心を高める。  **発：**画面の組み立て方や配色をかきながら考えたり、試みたりする。  **創：**墨や筆の扱い方を工夫し、その効果を確かめながらかく。  **鑑：**友達の作品を見て、そのよさや美しさを感じ取る。  **［共］**　墨や筆、和紙の特徴を生かした活動を通して、墨や紙の形や色、筆の動きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。 | **教師：**和紙（半紙、障子紙、奉書紙などで、引きを施していないもの）、刷毛、墨汁、染料  **児童：**筆、たわし、枯れ草など筆代わりになる身辺材料、新聞紙 |  |
| 題材名 | 時間 | めあて | 学習内容 | 評価の観点 | 主な材料 | 備考 |
| **瞬間コレクション**  **鑑賞** | **２～４時間　22･23ページ** | **写した写真を通して、さまざまな**  **ものの見方を発見し、発表し合う。** | ○デジタルカメラで「びっくり」「不思議」「すてき」などのキーワードをもとに発見した「瞬間（場面や被写体）」を撮影する活動を通して、身近なものを新しい見方で見つめ直す。 | **関：**ものの新しい見方を発見したり、自らおもしろい見え方をつくり出したりすることをたのしむ。  **発：**写り方を予想したり、写ったものから想像を広げたりしながら、自分なりの見方を考える。  **創：**デジタルカメラのもつ長所や短所を生かして、新しい撮り方や見方を工夫する。  **鑑：**みんなで集めた「瞬間」を見合い、見方のよさやおもしろさを感じ取る。  **［共］**　カメラで撮影する活動を通して、身近にある形や色のよさ、動きや奥行きによる見え方のおもしろさを感じ取り、これをもとに自分のイメージを広げる。 | **教師：**デジタルカメラ（約２～５人に１台）、印刷及び投影の可能PC環境（PC・プリンタ・プロジェクタ）  **児童：**はさみ、のり |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 題材名 | 時間 | めあて | 学習内容 | 評価の観点 | 主な材料 | 備考 |
| **「窓」のむこうには…**  **表現（２）絵** | **４～６時間　24・25ページ** | **窓」をきっかけに、想像したことを**  **くふうしてかく。** | ○「窓」をのぞいたら、そこにはどんな世界が広がっているのだろう、といった提案から自由に想像を広げ、自分の思い描いた世界を好きな表現方法を選んで、たのしみながら絵に表す。 | **関：**「窓」からイメージを広げ、想像した世界を絵に表すことをたのしむ。  **発：**「窓」からイメージを広げ、テーマや画面の組み立てなど、表現の構想を練る。  **創：**自分の想像した世界が効果的に表れるように、描画材料の扱いや表現方法を工夫する。  **鑑：**テーマや表し方のよさに関心をもって、お互いの作品を見合う。  **［共］**窓や窓の向こうに広がる世界を想像して、その世界の形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の表したい絵のイメージをもつ。 | **教師：**画用紙  **児童：**水彩用具一式、色鉛筆やコンテなどの描画材料 |  |
| **うつして見つけたわたしの世界**  **表現（２）　絵（版）** | **４～６時間　26・27ページ** | **スチレンボードの特ちょうを生かして、**  **いろいろな方法をくふうして版に表す。** | ○スチレンボードの特徴を生かして、身辺材料の型押しやボードの分解・再構成などをして版をつくり、絵（版）に表す。 | **関：**これまでの経験をもとに、材料の特徴を生かして版づくりや刷りをたのしむ。  **発：**写り方を予想したり、写ったものから想像を広げたりしながら、自分なりの主題を見つける。  **創：**材料の特徴を生かして版づくりや刷りの工夫をする。  **鑑：**自分や友達の表現のよさや工夫を感じ取る。  **［共］**　スチレンボード版画の製作を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。 | **教師：**スチレンボード､版画用具一式､ばれん、版画用和紙、版画インク、カッターナイフ、カッターマット  **児童：**古新聞紙、フォークやキャップなどの模様をつける身辺材料 |  |
| 題材名 | 時間 | めあて | 学習内容 | 評価の観点 | 主な材料 | 備考 |
| **布や枝のコンサート**  **表現（２）　工** | **４～６時間　28**  **ページ** | **布や枝の特ちょうを生かして、かざるものをつくる。** | ○枝と枝の間に布を張ることで面を見つけたり、枝分かれのところに着目して布を巻いたりなど、思いついたことを試し、その過程で発想したことを表現する。 | **関：**布や枝の特徴に関心をもち、いろいろと試しながら表すことをたのしむ。  **発：**材料の可能性をいろいろに試しながら発想を広げ、表したい形などを構想する。  **創：**布や枝のよさや美しさ、おもしろさなど特徴を生かして、使い方や組み合わせ方など工夫して表す。  **鑑：**友達の作品のよさや表し方の工夫などに気づき、感じ取る。  **［共］**　布と枝を組み合わせてつくる活動を通して、布や枝の形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分のつくりたいもののイメージをもつ。 | **教師：**ペンチ、針金、ひも、毛糸、端布、接着剤、枝木、つる、竹  **児童：**端布、不要になった布製品、ひも、毛糸、枝木 |  |
| **おどる光、遊ぶかげ**  **表現（１）遊** | **２**  **時間　29**  **ページ** | **光やかげの美しさを見つけて、くふうして思いついた活動をする** | ○自然光や光源により生み出されたた光や影のよさを見つけ、身辺材料を使いながら、さらにおもしろく見えるように表現する活動をたのしむ。 | **関：**光や影のいろいろな特徴を感じ取り、自分が納得できるように表す。  **発：**光と影の形や色から表したい表現を思いつき、そのためのしかけのつくり方を考えるなど、思いをめぐらせる。  **創：**光と影の組み合わせや形と色のおもしろさなどを生かす表現を試みながら、材料を効果的に使い、光や影の姿を表す工夫をする。  **鑑：**光や影の美しさを見つけたり、感じたりしながら、自分や友達の表現の違いやよさを味わう。  **［共］**　身近な場所や環境で、光や影を見つけようとする試行を通して、形や色、動きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分でしたい活動のイメージをもつ。 | **教師：**懐中電灯、OHP、様々な光源、色セロハン、ペットボトルなどの透明な容器、鏡、各種接着剤、テープ類、身辺材料など |  |
| 題材名 | 時間 | めあて | 学習内容 | 評価の観点 | 主な材料 | 備考 |
| **いろいろな見方で！**  **表現（２）　絵** | **２**  **時間　30**  **ページ** | **「自分マーク」をもとに見方を変えたり、考え方を広げたりしてかく。** | ○自分マークをいろいろな方向（前後、左右、上下など。４画面程度）から見たところを想像し、小さな画用紙（32切り）に鉛筆でかく。次に、自分マークの成長の過程（幼児、児童、青年、壮年、老年など。４画面程度）を想像してかく。 | **関：**多視点からとらえたものごとを同一画面上にかく可能性とそのたのしさやおもしろさに興味や関心をもつ。  **発：**八つの視点からとらえた八つの画面を同一画面上に組み合わせる表現を思いつく。  **創：**八つの画面をバランスよく、効果的に組み合わせたかき方を工夫する。  **鑑：**「自分マーク」を多様な視点からとらえ、同一画面上に組み合わせてかく表現の特徴やよさ、一般的な絵画表現との違いなどに気づく。  **［共］**　自分の感覚や活動を通し、自分マークの形や色、奥行きなどの造形的な特徴を多様な視点からとらえ、それらを組み合わせたり画面を構成したりするなど、造形的なイメージをふくらませる。 | **教師：**小さな画用紙（32切り、27×39cm) ８枚、16切り画用紙１枚  **児童：**鉛筆（２Ｂ程度） |  |
| **はさみと紙のハーモニー　　　表現（２）立** | **４**  **時間　31**  **ページ** | **形と色を組み合わせて、はり絵に表す。** | ○身のまわりにある紙をはさみで好きな形に切る快さを味わう。それを画用紙に並べたり、組み合わせたりしながら自由に発想を広げ、その形や色を生かして構成を工夫することをたのしみながら表現する。 | **関：**自由に紙を切ることをたのしみ、形や色の組み合わせに関心をもつ。  **発：**生まれた形や色から自分らしい発想を広げる。  **創：**切り方や、形や色の組み合わせを工夫することから自分のテーマを明らかにしながら表す。  **鑑：**自分や友達の表現のよさや工夫に気づき、認め合う。  **［共］**　紙を自由に切り、切った紙を組み合わせて貼る活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の表したい貼り絵のイメージをもつ。 | **教師：**軽量紙粘土、液体粘土、粘土べら、切り針、粘土棒、白の塗料、土台となるもの（板材や段ボール）、ラップなど  **児童：**身辺材料 |  |
| 題材名 | 時間 | めあて | 学習内容 | 評価の観点 | 主な材料 | 備考 |
| **白い物語**  **表現（１）　遊** | **２**  **時間　32**  **ページ** | **集めた材料や場所の特ちょうを考えながら思いついた活動をくふうする** | ○「白いもの」を置いたり、つなげたり、重ねたりすること、白いものどうしを透かしてみたたりすること、または光や影、明るさや暗さ、広さや奥行き、風や雰囲気など、場所の特徴を生かすことなどをもとに思いついたことを試していく。 | **関：**身近なものの「白い色」に関心をもってたのしむ。  **発：**材料の形、手触りによる白さの違いを感じて思いを広げる。  **創：**材料の組み合わせや場所の特徴を生かす工夫をする。  **鑑：**互いの感じ方や活動のしかたを認め合う。  **［共］**　身近な白い材料を使って、その場所や環境に合った活動を試行して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分でしたい活動のイメージをもつ。 | **教師：** 材料を貼り合わせたり、連結したりする用具（白色のテープ、ひも、白い洗濯ばさみやクリップなど）  **児童：**白い身辺材、はさみ、ホチキス、大きな紙袋（材料持参用の袋を片付けるときの袋としても活用する） |  |
| **白の世界**  **表現（２）　立** | **４～６時間　33**  **ページ** | **液体ねん土の特ちょうを生かして、思いついた白い世界をくふうしてつくる。** | ○軽さや耐久性に優れ、造形的な可能性も高いと言える軽量紙粘土や液体粘土などを使い、思いのままに形ができるたのしさを味わいながら、自分の想像の世界を広げていく。 | **関：**材料に関心をもち、表現する意欲をもつ。  **発：**自分のつくりたい世界やものを想像し、材料の特徴を生かしながらつくる。  **創：**材料の特性に気づき、試しながら工夫してつくる。  **鑑：**自分や友達の発想、工夫したところを認め合う。  **［共］**　身辺材を液体粘土で固めて立体に表す活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。 | **教師：**軽量紙粘土、液体粘土、粘土べら、切り針、粘土棒、白の塗料、土台となるもの（板材や段ボール）、ラップなど  **児童：**身辺材料 |  |
| 題材名 | 時間 | めあて | 学習内容 | 評価の観点 | 主な材料 | 備考 |
| **わたしはデザイナー　12さいの力で**  **表現（２）　工** | **６～８時間　34・35ページ** | **板や角材をもとに、使ってたのしい入れ物をつくる。** | ○板材や角材をもとに、何かを入れて使ってたのしむものをつくる。 | **関：**材料や用具を選び、自分の思いに合わせて、使ってたのしむものをつくることに意欲をもって取り組む。  **発：**材料の特徴やつくりたいものの大きさ、形などから見通しをもったつくり方を考え、構想を練る。  **創：**形や色の美しさやおもしろさ、用途を考えて自分なりの工夫をする。  **鑑：**友達と自分の発想や表し方の違いに気づき、互いのよさを認め合う。  **［共］**　板材や角材を使って入れ物を製作する活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分のつくりたいもののイメージをもつ。 | **教師：**板材（シナベニヤ合板、杉の間伐材など）、角材、木の枝、木工用具（のこぎり、電動糸のこぎり）、紙やすり、接着剤、蝶番などの木工金具  **児童：**自分の表現に必要な身辺材料 |  |
| **伝え方をたのしもう**  **表現（２）　　工** | **６～８時間　36・37ページ** | **材料やつくり方をくふうして、伝え合いたいことをみんなでつくって発表し合う。** | ○文字や言葉では表せない思い出や将来などを伝える方法をグループで話し合って計画し、他の学年や友達に発表し、ともにたのしむ。 | **関：**伝えるたのしさに関心をもって取り組む。  **発：**伝える相手を考えながら、伝える内容や方法を見通し、計画する。  **創：**伝えたい相手や内容に合った材料や用具を選び、伝え方を工夫する。  **鑑：**互いの伝え方の違いやよさを認め合い、伝え方をたのしむ。  **［共］**　グループで考えて創造する活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分たちの伝えたいことのイメージをもつ。 | **教師：**児童の計画を理解しながら支援する資料。児童の求めによって適宜用意する。他学年や地域との連携する連絡経路の確保など。  **児童：**伝えたい内容や伝え方に応じて話し合って準備や計画を進める。 |  |